

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

# ことねぎだより

NO.163  
2020年12月号  
TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社



収穫していて、重さを  
感じるとふふふになりました。  
寒さが甘さののってまてい  
と感ぜじ、ワクワクします。  
寒さが厳しくなっています  
農人一同頑張ります！

今年一年、大変お世話になりました。

世情がガラッと変わった中でも、ご注文を頂けるお客様や全国へ届けて頂ける運送業の方がいっしょに、働くスタッフ含め、関わる全ての方に「感謝」の気持ちを持って新しい年も取り組んで参ります！

言葉で感じる季節



黄色や赤に染まった植物たちが葉を落とし冬の眠りへ向かうこと。

今年の秋はあたたかで紅葉たちの色づきも穏やかな印象。刹那で短い秋、見る人の気持ちを楽しませてくれました。

冬支度をする美山産地、冬もねぎを生育する籠岡産地のエリアは山間地。

山々が紅葉した風景は、もくもくと作業する農人たちの心も晴れやかにしてくれます。

今月の  
ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

## 九条ねぎの旬の季節、冬葱のお届け

9月上旬に定植したもので、ねぎにとって生育適温での時期を過ごしています。

今年の秋は台風の被害を受けることもなく、順調に伸びてくれました。

そのおかげで、冬ねぎ特有の蜜（あん、ぬめり）を持った甘みのあるねぎを皆さんにお届けすることができます。

いよいよ旬を迎える冬葱、日増しに冷え込むことでまだまだ甘さがのってきますので、その変化も楽しめるでしょう！



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

## 冬場のねぎの生育管理を行い年越しします

朝晩の冷え込みが厳しくなり、いっそう強くなる寒さからねぎを守る為、春葱の定植を終えた圃場からトンネル被覆の準備を始めました。

今年はラニーニャ現象で寒くなる予報だった為、いつもより早めの準備となりました。冬の寒さや霜、雪からねぎを守るために、農人一同協力して、支柱を畑に差していき、ビニールを被せて完成させていきます。



こちらが毎年行なっているトンネル被覆の設置。今年の秋は例年と比べて比較的あたたかく、秋晴れの中作業が出来たような気がします！

昨年からの新たな試みとして初めたベトコンハウスを今年も設置しています。ベトコンハウスとは、徳島特有の少し小さめのビニールハウスでちょうど人が入れる大きさ。被覆をしながら追肥などを行えるのがメリットですが、逆に設置は、通常よりも大変ですので各地域から集まって大人数での作業になります。すべて完成したときの達成感はなんとも言えません。このハウスのおかげで、厳しい環境でも栄養を定期的に与えることができるので、来年の春頃にも良い葱をお届けできるように頑張っています！



※年末年始、余裕を持ったご発注を※  
毎年この月は、年末にかけての繁忙期・交通事情等で時間指定されていても延着等のトラブルが発生しやすい傾向です。万一に備え、店舗様の方で通常よりも在庫をお持ち頂き、若干の延着が発生しても影響が緩和できるようご協力頂きますと幸いです。